

高規格救急車運用開始！！



車両前方

(撮影・編集：上ノ国消防署救急係)



車両横



車両後方



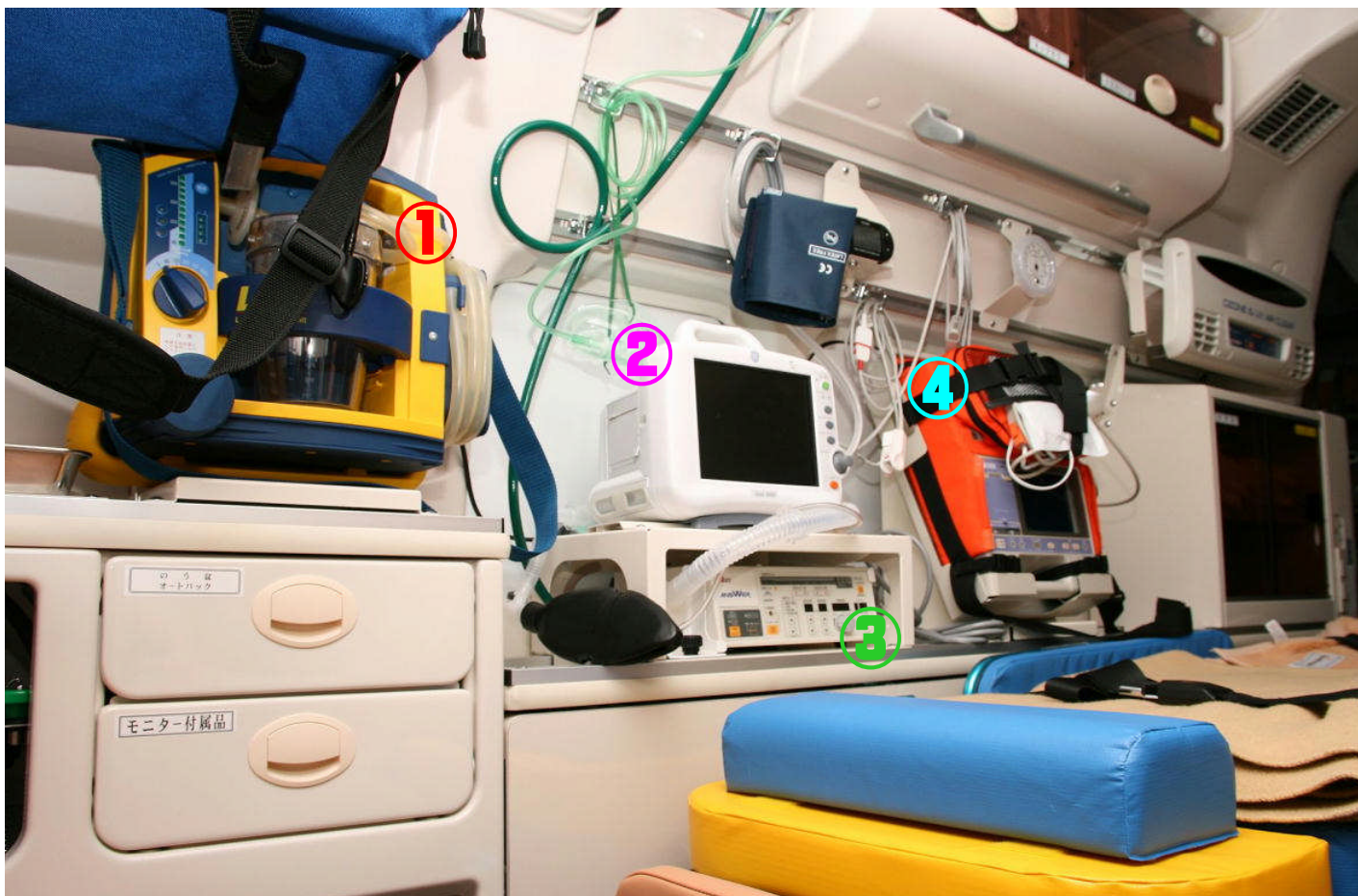
車両上部



車両内

平成23年12月より上ノ国消防署での高規格救急車の運用が始まりました。高規格救急車は高度化が進む救急業務に対応し、救急救命士等の救急隊員が、救急救命処置又は応急手当を実施できる車両です。
救急車内は傷病者に緊急走行時の振動を与えないよう「防振ベッド」を設置、車両右側にはガラスカッター等も装備されており、普段では見えないところにもたくさんの資機材が積載され、たくさんの工夫が施されています。

救急車内



①吸引器



傷病者の方が意識が無く、口の中に溜まった嘔吐物や血液などを吸引する器械です

②心電図モニター



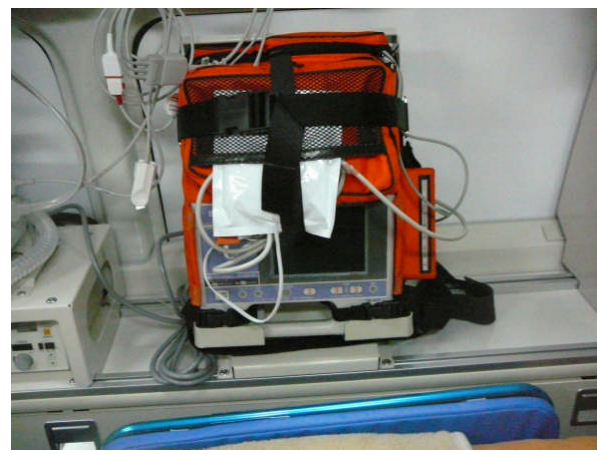
傷病者の方の心臓の動きを診たり、血圧、脈拍等を車中走行中車内が揺れていても正確に測ることができます

③自動人工呼吸器



傷病者の方が自力で呼吸ができない場合にこの器械が呼吸の手助けをしてくれます

④半自動体外式除細動器



傷病者の方が意識・呼吸が無く、さらに心臓の動きが正常でない場合に電気的刺激を与えます

オートパルス (自動心臓マッサージ器)



装着例

上ノ国消防署の高規格救急車にはオートパルス (自動心臓マッサージ器) を積載しています。このオートパルスは心臓の動きが止まっている傷病者に対し、場所が狭かったり、足場が悪い場所等の悪環境でも「正確な早さ、正確な圧迫する強さ」で心臓マッサージを行うことにより救命率の向上が期待されます。